	事業名 31399	心体心入田山北连宁不良			会計	1 一般会計	4+ Dil	Α	合併前から実施されているイベント・行事			#	
争未有		(老人クラブ活動費助成事業)	事業)		款	3 民生費	特別 予算の C	В	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	5 ・医療・福祉を充実させます・地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独
	担当課	高根支所 地域振興課	内線	算	項	1 社会福祉費	位置	С	終期を定めて実施する事業・単年度事業			公约	・ 地域住民が互いに支えめり仕組みや、紫忌時の支援を力主にするだめ、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
	担当床	向假又別 地域振興誅	3722		目	3 老人福祉費	לוניו	D	その他事業	H25計画額	420 千円	业力	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人ク ラブ及び連合組織		地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概	事業の実施	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することによ
Á	対	象者数	10,000 人	(意図)	心域を参照CUにを该の社会心刻の口消な政用Cまりプラットの同即有の参画の促進	要	手法(手段)	り、各種活動の育成、支援を行う。

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績 ・市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。

			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	+ 4 = + 4	A B #1		目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
	動指	連合長寿会	会員数		実績値	10,405	9,796		
	標	算出根拠	等		達成率(%)	99	93		
	活	油合星丰会	単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
	動指	建口及对云	丰世七八ノノノ 妖	777	実績値	150	143		
	標	算出根拠	等		達成率(%)	100	95		
	活動	連合長寿会	加入來	%	目標値	42	43	40	40
	指	ELKAX	70-70-7-	/0	実績値	42	39		
成	標	算出根拠	連合長寿会加入者数/65歳以上人口		達成率(%)	99	91		
果面	活動				目標値				
ш	指				実績値				
	標	算出根拠	等		達成率(%)				
	活動				目標値				_
	指				実績値				
	標	算出根拠	等		達成率(%)				
	成果				目標値				
	指				実績値				
	標	算出根拠	等		達成率(%)				
	補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。

4 今後の方向性(Action)

			対する な状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。
	担	0	維持·改善	
3			拡大	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
白度	- E-TT		縮小	・七八ソフノ治則其補助立(31330争来/との一个化を図る。
0	曲		廃止検討	
月前		_ O 維持·改善		
J.			拡大	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラ
金	評価		縮小	ブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。
	Щ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	420	420	420	420
3.22 P/K		受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,884	5,185	5,753	5,753
	受益者	高根区会員(4月1日現在)	(B)	86	81	73	73

5 予算編成(Action2)

事業・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。

・各区老人クラブ事務局人件費

支・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取組みにするため、一般会計(31336事業 老人クラブ活動費補助金・予算へ移行する必要がある。

高 年 ・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支 が 援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ 置 活動費補助金)へ移行する必要がある。

・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に 高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	420	420	0	420	420				
Ę	国庫支出金			0						
3		280	280	0	280	280	・要求どおり	・財務部調整のとおり		
P				0						
Ē	一般財源	140	140	0	140	140				

事業実施の課題

*	61199	地域活性化施設振興事業			会計	1 一般会計	特別		A A	合併前から実施されているイベント・行事			#	
尹:	番枝	电域沿江10.00000000000000000000000000000000000	, 3		款	6 商工費	予算の	0	в -	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	2 商工業・地場産業をさらに発展させます
担	<u>⊬</u> =⊞	高根支所 地域振興課	内線	算	項	1 商工費	位置		C 終	終期を定めて実施する事業・単年度事業 -			公	◎景気回復を最重要課題として取り組みます
111	日本	向低义剂 地域振英誅	3710		目	1 商工振興費	1917		D 8	その他事業	H25計画額	6,340 千円	æብ	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	計	隹を(対象)	高根支所地域全住民	とうしたい	・道の駅飛騨たかね工房は、地域の情報発信及び特産品の直売所としてだけでなく、地域の活性化施設として重要な位置づけとなる施設であるが、年間を通じた安定した集客が困難であるため、施設	概	事業の実施 手法(手段)	・道の駅飛騨たかね工房の安定した運営のため業務委託料を支出するもの。
É	Ż	対象者数	417 人	(意図)	の運営が非常に厳しい状況にある。 よって、施設の安定した運営のため、業務委託料を支出するもの。	要	手法(手段)	*通の制、飛騨にかね工房の女正しに連番のため未扮安配件を又山するもの。

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績	・道の馬	沢飛騨たかね工房業務委託料 6,340千円						
				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	年間営業	: 🗆 ₩ -		В	目標値	309	310	309	310
	動指	中间呂未	口奴			実績値	309	310		
	標	算出根	拠等			達成率(%)	100	100		
	成果	年間入り	込み安	% t		目標値	65,200	61,500	61,500	61,500
	指	TINJ/ /	2076	3A		実績値	55,701	55,814		
	標	算出根	拠等	道の駅年間入込客数(観光動態調査)		達成率(%)	85	91		
						目標値				
						実績値				
成		算出根	拠等		_	達成率(%)				
果面						目標値				
ш						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根	拠等		_	達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
	補足	・H24より	特産品	の販売に力を入れて実施している。						

3 分析·評価(Check)

	の特産品開発、販売の拠点機能を持つ道の駅は、ほかに類似する施設がなく、施設自体は今後 興特別予算の業務委託料が無くても、経営の黒字化により事業者が自己費用で運営可能となっ	
--	--	--

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・地場野菜の販売の拡充を実施。 ・手打ちそばや定食の販売開始など、魅力あるメニューへの取り組み。 ・効率的なパート利用の実施など人件費の削減。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅は、ほかに類似する施設はなく、事業は今後も継続していくが、今後さらに効果
年度	評		縮小	・ 地域の付性の開光、 駅ボの使品機能をもつ進の駅は、はかに 規似する施設はない、 事業はず後も軽減していてが、 ず後さらに 別末 のある誘客宣伝の実施や経営改善に努めていく。
の	価		廃止検討	
実施	<u> </u>	0	維持·改善	
力	次		拡大	・地域の個性を活かした地場産品の物販・観光の拠点施設であるが、採算面で厳しさが増しており、今後のあり方などについて検討
針	評価		縮小	する必要がある。
	ПШ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	6,340	6,340	6,340	6,340
311 133		受益者1件当たり(円)	(A∕B)	114	114	103	103
	受益者	年間入り込み客	(B)	55,701	55,814	61,500	61,500

	(71010112)					
事業、漢の职派	引 3 6 弾たかね工房管理業務委託	要找力	事業実施支	・地場野菜の販売拡充、魅力あるメニューの開発、人件費の削減など に取り組んでいるが、今後も経営の黒字化を図るための取り組みが必	課	赤字施設であるため、経営改善及び施設の方向性の検討が必要である。
内容	等にかね上方目を手が安む ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		所課題	要である。	地域	事業者が自己費用で運営可能となるような取組みが必要である。 地域振興特別予算終了後を見据えた方針の策定が必要である。

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	6,340	6,340	0	6,340	6,340				
財	国庫支出金			0						
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり		
内	その他			0						
訳	一般財源	6,340	6,340	0	6,340	6,340				

#	44 27	72199	地域道路橋りょう管理振興事業	費		会計	1 一般会計	杜中山					市	
争习	耒名	番枝	(市道未登記用地測量事業)	事業)		款	7 土木費	予算の	0	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画		
+0	17 =⊞		古相士託 甘敏克类细	内線		項	2 道路橋りょう費	位置 付け		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		4	公	
15	は		高根支所 基盤産業課	3742		目	1 道路橋りょう総務費	1917		D その他事業	H25計画額	5,000 千円 **	市山	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を	(対象)	高根地域の住民	どうしたい		概	事業の実施	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
É	対象	象者数	417 人	(意図)	*不豆能的稼の金属(ロ町作品に、不豆能のまま連路金属した時稼の豆能金座)	要	手法(手段)	「中連木豆配画別の例里を1」い、別有名から計画により連絡用地Cして同田中へ別有権や転豆配を1」フ。

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績	•市道	開拓6号線、池ケ洞線、黍生線 調査延長 7 登記済	'50m (6 10m (
				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	卸本測与	1.50 7. D	♥ 4白 Z.T. 트		目標値	400	800	500	500
	動指	調査測量	上川の日	台 林	m	実績値	300	750		
	標	算出根	拠等	未登記路線実績調査		達成率(%)	75	94		
	活	八年來司	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			目標値	100	400	400	400
	動指	刀半豆司	こうすのい	台 林	m	実績値	100	10		
	標	算出根	拠等	未登記路線実績調査		達成率(%)	100	3		
	成	未登記整備進捗率				目標値	4	5	6	5
	果指	不 豆癿 ±	川地工	ν÷	%	実績値	4	4		
成	標				,244m)	達成率(%)	91	73		
果面						目標値				
面						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
				·		目標値				
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				

達成率(%)

・調査延長は伸びるものの、登記までには所有者の確認等作業が難航し、進捗率は低い状態である。

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・世代交代により、地権者の了解を得るのに時間を要する。

4 今後の方向性(Action)

_				
			:対する 5状況	・地元町内会の協力を得ながら所有者の確認をし、着実に進めていく。
次年度の	担当課評価		維持·改善 拡大 縮小 廃止検討	・重要路線の未登記処理は、今後も継続していく必要がある。
実施方針	二次評価	0	維持·改善拡大縮小 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	1,957	4,997	5,000	6,000
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,111	11,055	11,990	14,388
	受益者	4/1現在高根町住民	(B)	476	452	417	417

5 予算編成(Action2)

算出根拠等

事業	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求ののポル	事業実施の支所	・世代交代により地権者の了解を得るのに時間を要する。	推 持 持 消を進めること。 地
容		1 1 1	課題		域 政 積極的に事業を推進すること 策 課

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	5,000	6,000	1,000	6,000	6,000			
財	国庫支出金			0					
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり	
内	その他			0					
況	一般財源	5,000	6,000	1,000	6,000	6,000			

Ī	中 學力	94199	花いっぱい運動推進事業			会計	1	一般会計	杜中山		A	合併前から実施されて	いるイベント・行事			击		個人・家庭・地域を大切にする社会を築き
ı	尹禾石	番枝	100つはい運動推進手来		予	款	9	教育費	予算の) E	一般予算の上乗せとして	実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	4	・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して
	担当課		高根支所 地域振興課	内線	算	項	4	社会教育費	位置	Г	(終期を定めて実施する	事業・単年度事業			公		の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業
ı	担当床		同假又別 地域振興誌	3710		目	1	社会教育総務費	(1917	Г	[その他事業		H25計画額	800 千円	ボリ		

きます。 て暮らせる地域を築くため、地域 事業の予算枠を確保します。

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対象)	高根支所地域全住民		・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメー		事業の実施	・花いっぱい用花苗の購入
É	対象者数	417 人	のか (意図)	ジアップと住民の地域への愛着心を高揚させる。	要	手法(手段)	・花壇の整備・管理、花苗の植栽等を高山市シルバー人材センターへ委託

2 事業の堆投・結果(Do)

	_	争え	長の推移	· 桁果 (Do)							
		H23	実績	·山野草花苗購入 ·花壇維持管理業務	285千円 475千円						
I				指標	名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
ı		活	#1 ンっぱ	い用花壇の整備箇所	Жh	箇所	目標値	11	11	11	11
ı		動指	150,1719	い用化塩の金浦固別	奴	百別	実績値	11	11		
ı		標	算出根	拠等			達成率(%)	100	100		
ı		成	# : 左: 楽!	ナンニレのズキス加門		月	目標値	3	3	3	3
ı		果指		Я	実績値	3	3				
ı		-t=	質虫却	圳生			達成変(%)	100	100		

達成率(%) 目標値 中学校の郷土学習 実績値 算出根拠等 達成率(%) 目標値 実績値 算出根拠等 達成率(%) 日標値

実績値

達成率(%)

目標値 実績値

達成率(%)

・平成24年度から山野草について、朝日小学校3年生の郷土学習の授業に取り上げられ、山野草への子どもたちの愛着心高揚の一つとなった。

・国道361号線を通る山野草ファンも多く車を止めてカメラを構えたり、散策している姿が多くみられる。

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・多年』 ・郷土 ⁴ 気をも

廃止検討

草である山野草が定着したあとは、苗の購入は少なくなるが、花壇の管理業務は必要であり、管理体制の検討が必要。 学習の一環として管理業務の作業に参加しセンター会員と小学生とがふれあい、学び、またセンター会員は子どもたちから元 らえるようなコミュニケーションづくりの場としていけないか学校側との検討が必要ではある。

4 今後の方向性(Action)

			対する 状況	・山野草が定植するよう維持管理を行い、また不足する部分について補植等の実施。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメージアップと住民の地域への愛着
年度	評		縮小	心を高揚させる事業であり、今後も継続する。
の	価		廃止検討	
実	_	0	維持·改善	
	次		拡大	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。
針	評		縮小	安とのる。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	791	760	800	950
211 122		受益者1件当たり(円)	(A∕B)	32	37	35	41
	受益者	7~9月の道の駅利用者	(B)	24,969	20,816	23,000	23,000

5 予算編成(Action2)

算出根拠等

算出根拠等

・山野草(多年草)の植栽に必要な苗の購入 ・町内会等での管理が困難な沿道の花壇であることからも、花壇の適正な管 理(補植、猪被害花壇整地)を行うための管理業務委託費

の 花壇の維持管理また山野草が定植するように補植(苗購入)及び管理業務を実施 実 施の課題 ポ 猪被害があった花壇の修復による増

多年草である山野草が定着しつつあるところであるが、近年猪による 花壇掘削の被害が頻繁にあり花壇が荒らされている状態である。山 野草の種類の検討が必要と思われる。また、花壇の管理業務につい ては猪等からの被害も含め山野草定着後も業務の継続は必要であ

地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域におい て地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花 苗等の配付等、地域によって異なっている。

現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等 類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するな がで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。

2	
	同上

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	800	950	150	800	800				
郥	国庫支出金			0						
源	県支出金		・計画額どおり		・計画額どおり	・財務部調整のとおり				
ᄷ	その他			0						
哥	一般財源	800	950	150	800	800				

+	一类力	94699	地域文化振興事業			会計	1	一般会計	特別		Α	合併前から実施されているイベント・行事			击	伝統文化を守り、次代へ継承します。
7	未有	番枝	- 地域人心域央学术		予	款	9	教育費	予算の	0	В	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し
+0	当課		高根支所 地域振興課	内線	算	項	4	社会教育費	位置		С	終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動
12	計		同低义剂 地域振英誅	3710		目	6	文化振興費	1917		D	その他事業	H25計画額	150 千円	北刀	

出し、生きがいや、若者の社会参加 活動をさらに浸透させていく。

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	きを(対象)	高根地域住民	どうしたい のか	・文化芸能祭を通して、地域の伝統・文化を再認識し、地域への愛着、郷土意識を高めることができ z	概	尹未の天池	・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。
É	対	付象者数	417 人		る。 ・地域の文化振興と地域コミュニティの推進を図る。	要	手法(手段)	・同依地域の人心本能家の連高具で社本教育推進励機本へ精助する。

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績 ・	高根地域の文化芸能	祭の運営費を社会教育推進協調	義会へ補り	助。				
			指標名	i i	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活動	享担州区7	文化祭の開催回数		0	目標値	1	1	1	1
	期 指	间状地位之	へに示り 所 催己致		1	実績値	1	1		
	標	算出根拠	等			達成率(%)	100	100		
			文化祭の参加人数		人	目標値	200	200	200	200
	指					実績値	200	200		
	標	算出根拠	<u>l</u> 等			達成率(%)	100	100		
						目標値				
						実績値				
成		算出根拠]等			達成率(%)				
果面						目標値				
ш						実績値				
		算出根拠	等			達成率(%)				
						目標値				
		Marie III III III				実績値				
		算出根拠	等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根拠	等			達成率(%)				
	補足									

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・事業内容見直しと今後の補助に対する検討が必要。		
---------------------	--------------------------	--	--

4 今後の方向性(Action)

_	•	, ,	,	3131200	,
				対する 5状況	・補助金の有効活用のため、社会教育推進員会に対する助言等の実施
		担	0	維持·改善	
	~ I	当課		拡大	・この事業は、高根の住民の心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、住民の参加率も高く、高根の住民が集う場所でもあるので引
	年 度	評		縮小	き続き継続する。
	の 1	価		廃止検討	
	実施	_	0	維持·改善	
	方	次		拡大	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	針	評価		縮小	・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
	, I	ш		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	150	150	150	150
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	315	332	360	360
	受益者	高根地域住民	(B)	476	452	417	417

事業 内容 ・高根地域の文化芸能祭に対する助成 ・高根地域の文化芸能祭を継続するための経費を計上	事業 実 支 が はいない は、
---	------------------

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	150	150	0	150	150				
Ą	国庫支出金									
J	[県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり		
P	その他			0						
ā	一般財源	150	150	0	150	150				

-	第名 第名	地域スポーツ振興事業			会計	1 一般会計	杜中山		A 合併前から実施されているイベント・行事			击	'						
7	番枝	Ta 技		予	款	9 教育費	予算の	0	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画								
+=	ગ્ર =⊞	古祖士記 华禄传郎部	内線	算	項	5 保健体育費	位置	П	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業			公							
75	当 林	高根支所 地域振興課	3710		目	1 体育施設費	(וניו	П	D その他事業	H25計画額	400 千円	本力							

1 事業の目的・概要(Plan)

目 誰を(対象) 高根支所的 対象者数	04	・各軽スポーツを通して、地域の連携と健康増進を高めることができる。 ・地域のスポーツ振興と地域コミュニティの推進を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・高根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会の運営費を社会教育推進委員会へ補助する。
---------------------	----	---	----	-----------------	---

2 事業の推移・結果(Do)

	H23実績	・高根地域のスポーツ振興事業を運営する社会教育推進協議会へ補助。
--	-------	----------------------------------

		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活;	軽スポーツ交流大会等の開催回数	0	目標値	5	5	5	5
	動指	軽入ホーノ文派人去寺の開催回数	Ш	実績値	5	5		
	標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	成田	高根地区軽スポーツ大会等参加者数	人	目標値	360	360	360	
	果指	同低地位料へ小一ノ人云寺参加有奴	_ ^	実績値	360	360		
	標			達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
成		算出根拠等		達成率(%)				
果面				目標値				
血				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足	・軽スポーツ交流により高根地域の住民が集い、マンネリ化したがいづくりの場となっている。	生活や心	に潤いを醸し	出すとともに、地域	の連帯感を高め住	民の健康・体力の	向上と維持、生き

5 予算編成(Action2)

3 分析·評価(Check)

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・補助金の有効活用のため、社会教育推進委員会に対する助言等の実施
	担	0	維持·改善	
次			拡大	・高根の住民の心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、住民の参加率も高く、高根の住民が集う場所でもあるので引き続き継続す
年度	=		縮小	১
O	価		廃止検討	
実施			維持·改善	
方	次		拡大	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。
針	評価	0	縮小	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	Щ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	400	400	400	400
711117		受益者1件当たり(円)	(A/B)	840	885	959	959
	受益者	高根支所地域全住民	(B)	476	452	417	417

3 T	异稿(X (ACTIONZ)				
事業内容	根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会等の運営に対する助成	要 求 の ポイント	事業実施の課題	友 地域の高齢化と人口の減少する中、参加者・役員等の招集もままならない状況ではあるが、参加・協力していただけるよう工夫をする必要がある。	ス 地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域にお 1 けるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振 興発列予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイ ベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続 する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。 地 域 政 同上 策 課

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	400	400	0	400	400		
貝	国庫支出金			0				
J.	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり
Þ	その他			0				
ā	一般財源	400	400	0	400	400		

•	•	,20 牛皮 争未加了。			3515 4 1 3 7											
事業		遊休施設解体事業		会計	1 一般会計		特別	A 合併前が	ら実施されているイベント・1			市	士見のための行	女改革を実施します		
尹禾	10 7	监怀旭政府中于未	子	款	2 総務費		予算の	B 一般予算	の上乗せとして実施されている	事業	根拠計画	長		x以単を美施しまり 「今必要な行政改革を	をすぐに断行します	-
担当	==	高根支所地域振興課	内線	項	1 総務管理費		位置 付け	〇 C 終期を定	めて実施する事業・単年度				・市の施設や支所 用を行います	の改修利用を進める	るほか、遊休施設・コ	土地などの有効活
担크	計	同低又別地攻派央訴	3710	目	8 財産管理費		(זיניו	D その他	業	H	125計画額	千円	用を打いより			
1 :	事業の	の目的・概要(Plan)														
		(対象) 高根支所地域全住民	どうしたい													
目的	DE C	(A) SA INIXA	のか	使用され	れていない構築物、	、建物等の処分			1	概 事	業の実施 法(手段)	不要構築物、建物等の処分解体				
нэ	対象	₹者数 417	人 (意図)							X 7	A (T + X)					
2 4	事業の	の推移・結果(Do)							;	3 分析・	評価(Check)				
	, ,,,,									<u> </u>		,				
Н	123実	績							- 11	分析	評価で					
									- 11	明らかに	なった課題					
		指標名		単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25							
	活動	查休施設解体処分		件	目標値				4	4 今後(D方向性(Ac	tion)				
	指				実績値											
1	標	算出根拠等 解体件数			達成率(%)					課題等	に対する					
					目標値						応状況					
		年山中加生			実績値											
_		算出根拠等			達成率(%)					担	維持·改善					
					実績値					次年度の一	拡大					
		算出根拠等			達成率(%)					年(杯)	縮小					
成里		并山低灰寺			目標値					の価	廃止検討					
面					実績値					実 📗 📙	維持·改善					
		算出根拠等			達成率(%)					施二次計	拡大					
-		FI IX.			目標値				1	針評価	縮小					
					実績値						廃止検討					
		算出根拠等		-	達成率(%)					コスト面						
					目標値							事業費	H22	H23	H24	H25
					実績値							(人件費を除き、繰越・補正を含む)	決算額	決算額	予算額	予算要求額
		算出根拠等			達成率(%)					コスト指標		歳出(千円)	(A)	0 0	0	10,710
1	補	•								10.1%		受益者1件当たり(円) (A.	(B)	0 0	0	7,434
	足										受益者	高根支所地域住民	(B) 47	6 452	417	417
5 -	予算	編成(Action2)														
					要				事			管財		策等のため解体すべ 、市有地については		がず 供物につ
事	遊休別	拖設解体処分			求				業			課		、川有地に ろいては b権者と調整を行う必		'必安、旧地にフ
業	〇野	多麦峠(木魂の森)野営場・・・バンガロー 3棟 多野郷南乗鞍休養地・・・・トイレ 1棟	『、東屋 1棟、炊	事場 1棟	ポー合併時点で	既に使用されていなか	った不要が	函設及び利活用語	十画の無い施設の撤 施の課 題	支所						
12.3	〇温	∖室・・・2棟			イ				0	PIT		地				
	OIE	日和田保育所			\(\sigma \)				課			域政	同上			
									KA			政策課				
		事業費(人件費除く) H2	24当初予算額	H25	5予算要求額	増 減	財	務部調整額	市長査定額			財務部調整の考え方		市長査定の)考え方	
		歳出(千円)		0	10,710	10,71	0	10,063	10,063							
財		国庫支出金					0			在 答由	t. 蚌木		. 計数如細数のにお			
河西	県	表出金		1			U			積算内容	で 相互		・財務部調整のとお	7		
内		つの他			i i		Λ.									

-	***	51399	地域特産品ブランド化振興事態			会計	1 一般会計	特別		Α	合併前から実施されているイベント・行事			击	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。		
7	未石	番枝	地域付座加ノリンドに振興争を	* 字未		款	5 農林水産業費	予算の		В	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画			3		
+6	v== 5+1+11 #4		高根支所 基盤産業課	内線	算	項	1 農業費	位置付け	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	・飛驒高山のブランドにふさわしい、生産者の顔がみえる安全で安心な付 加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。		
11.	土二林		同恨又別 基盤性未沫	3741		目	3 農業振興費	1917	П	D	その他事業	H25計画額	千円	本力	加川地の同い性地性的ラスツに取り組みより。		

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	誰を(対象)	農家	どうしたい	地域畜産農家の堆肥を有効活用し、農地の地力を上げることにより、低農薬による「安心・安全」な	概	事業の実施 手法(手段)	簡易コンポスト建設に対する助成
Á	タマ	村象者数	12 戸	のか (意図)	農業生産を目指し、農作物のブランド化による農業所得の向上を図るため、簡易コンポストを建設する。	要	手法(手段)	間あコン小へ下建設に対する別以

2 事業の推移・結果(Do)

簡易コンポスト建設 1棟(留之原地区)

	H23	夫 傾	(地域	持産品ブランド化振興事業)						
				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	蔬菜生産	400	±45 = ¥+	戸	目標値		12	12	12
	動指	疏米生性	租吉又	1.8户致	ļ <i>p</i>	実績値		11		
	標	算出根据	処等			達成率(%)		92		
	活	堆肥利用	# ===	= \(\psi \).	戸	目標値		12	12	12
	動指	堆贴利用	辰豕尸	- <u>x</u> X		実績値		11		
	標	算出根据	処等			達成率(%)		92		
	成	恭敬 (ほる	sh 4.2	そう)の出荷量	ケース	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000
	果指	原木(は)	11070	(グ)の山利亜	7-2	実績値	25,200	23,000		
成	標	算出根据	処等	飛騨農協調べ		達成率(%)	126	115		
果	成果	恭帯 (15-2	5 h 6.4	そう)の販売額	千円	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
面	指	頭木(16)	71070	こ グバルスグル 前京	117	実績値	63,000	54,000		
	標	算出根据	処等	飛騨農協調べ		達成率(%)	126	108		
						目標値				
						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
	補足	H24.9末	販売額	頁 31,000千円 販売量 14,200ケース						

3 分析・評価(Check)

4 今後の方向性(Action)

		対する:状況	
次年度	担当課評	縮小	H23事業にて完了予定であったが、黍生地区から要望がありH25事業として対応する。
の実施方針	価 二次評価	廃止検討 維持·改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	0	1,440	0	2,200
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A/B)		130,909		183,333
	受益者	蔬菜生産組合	(B)		11	12	12

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)		2,200	2,200	2,200	2,200		
貝	国庫支出金			0				
沥	[県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり
Þ	その他			0				
围	一般財源		2,200	2,200	2,200	2,200		

+ ₩	51399	生活環境保全対策事業			会計	1	一般会計	杜上中山		Α	合併前から実施されているイベント・行事		±		産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立し
尹未	番枝	工冶块场体主对束争来		予	款	5	農林水産業費	予算の		В	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	長	3	性未の性としての長末・仲末・田性未を唯立し
担当	=⊞	高根支所 基盤産業課	内線	算	項	1	農業費	位置	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事業		公		・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除 方策について具体的に取り組みます。
12 =	本	同恨又別 基盤性未誅	3741		目	3	農業振興費	(וניו		D	その他事業	H25計画額	千円 約		万束について共体的に取り組みより。

立します。

駆除と防御事業を強化し、活用

1 事業の目的・概要(Plan)

	III	誰を(対象)	高根地域の住民	どうしたい	・有害鳥獣による被害を防止するため、集落の周囲に進入防止柵を設置し、安心して暮らせる地域	概	事業の実施	・有害鳥獣侵入防止柵等の設置に対する助成
f	ry 3	対象者数	417 人	のか (意図)	づくりを目指す。	要	手法(手段)	*有者局歌使入防止柵寺の政直に対する即成

2 事業の推移・結果(Do)

算出根拠等

算出根拠等

算出根拠等

算出根拠等

_	尹未	そりが生作を	和木	(D0)						
	H23	実績		田町内会が実施した簡易獣害防止柵設置に対す 原町内会が実施した簡易獣害防止柵(電柵)設置		助成				
				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	施工延長				目標値	35,000	35,000	35,000	
	動指	旭工進攻	:		m	実績値	13,267	21,367		
	標	算出根	処等	事業計画、実績		達成率(%)	38	61		
	活	事業実施	ᄷᇎ	tr.	地区	目標値	2	2	2	
	動指	争未关心	直門す	X	地区	実績値	2	2		
	標	算出根	拠等	補助金交付申請書		達成率(%)	100	100		
						目標値				

実績値

達成率(%) 目標値 実績値

達成率(%) 目標値 実績値

達成率(%)

目標値 実績値

達成率(%)

3 分析·評価(Check)

	本事業の実施は、地域住民の生活環境を保全する上で有効な施策であり、その効果も大である。なお、インシン等による生活環境への被害を防止するため、防護柵等の設置をするものであるが、市道等には設置できないため、別の対策が必要となる。また、猿被害の防止は別途検討する必要がある。
--	--

4	节传	乏り),	方i可性(Act	tion)
				・補助金の交付希望のあった町内会から対応しているが、予算の都合により一部翌年度対応する。 ・新規希望については、現在町内会と調整中である。
	担	0	維持·改善	
次			拡大	町内会と調整の上実施する。
	評		縮小	.脚宝の工夫施する。
の	価		廃止検討	
	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	・鳥獣被害は深刻な問題であり、早急に対応する必要がある。
				・一般予算とのバランスに配慮し実施する必要がある。
	Щ		廃止検討	
	次年度の実施方	課 担当課評価 二次		次年度の 実施方針 大年度の 大年度の 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	7,968	7,000	7,000	
311 133		受益者1件当たり(円)	(A∕B)	16,739	15,487	16,787	
	受益者	4/1現在高根町住民	(B)	476	452	417	

	: - 里山と農地の間に緩衝地帯を整備	要求ののポ	・イノシシ等による畑作被害を防止するため、防護柵の設置をするも のであるが、市道等には設置できないため、別の対策が必要となる。	農務 ・国庫事業「鳥獣被害防止総合対策事業」においての実施も検討する必要がある。
P 2	- 留之原地区、10m×3,000m	イント	また、猿被害の防止は別途検討する必要がある。	地域。 ・鳥獣害は全市的な問題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。 課

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	7,000		△ 7,000	4,300	4,300		
財	国庫支出金			0			・一般予算での要求があったが、地域固有の整備であるため地域振興特別予	
源	県支出金			0			算で計上	・財務部調整のとおり
内	その他			0				
副	一般財源	7,000		△ 7,000	4,300	4,300		

中坐力	72199	道路照明施設環境整備事業			会計	1 一般会計	杜中山		A 合併前から実施されているイベント・行事		市
争耒名	番枝	(廃止済街路灯撤去)		予	款	7 土木費	予算の		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	長
+D N/ =m		京相士記 甘穀玄樂師	内線	算	項	2 道路橋りょう費	位置 付け	0) C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		<u>公</u>
担当林		高根支所 基盤産業課	3741		目	1 道路橋りょう総務費	1917		D その他事業	H25計画額	千円 約

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたい	合併前の旧高根村において整備した道路照明(街路灯)のうち、合併後廃止した街路灯11基の撤去		事業の実施	請負による。
Ĥ	対象者数	417 人	のか (意図)	をし、道路環境整備を図る。	要	手法(手段)	明見にかじ。

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績無し							
			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	成	撤去街路灯		基	目標値				11
	果指	拟云山岭闪		垄	実績値				
	標	算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
成		算出根拠等			達成率(%)				
成果面					目標値				
ш					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		Mr. I. Im In the			実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		**			実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	平成25年度新規事業
---------------------	------------

4 今後の方向性(Action)

	7 15	~ /		,
			対する 状況	
	担		維持·改善	
次	当課		拡大	
年度	評		縮小	
の	価		廃止検討	
実	_		維持·改善	
施方	次		拡大	
針	評		縮小	
	価		廃止検討	
_				

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	0	0	0	846
311 133		受益者1件当たり(円)	(A∕B)				2,029
	受益者	高根町市民	(B)	0	0	0	417

_	J 子种情况(Action2)			
等等区	集 ち 廃止し放置されている道路照明(街路灯)の撤去 字	要求のポイント	事業実施の課題	推 道路照明として、不要と判断されたものであり、道路景観保全のため撤去を行う。 地 域 政 策 課

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	0	846	846	1,000	1,000				
Ę	国庫支出金			0						
3	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり		
F	その他			0						
ā	一般財源		846	846	1,000	1,000				

平	成25年度 事業別 [·]	予算概要	(地域	振興特	別予算)								
事業名	31399 地域消防施設振	興事業	会計			特別			実施されているイベン		根拠計画	市	, 市民のための行政改革を実施します
	番枝 起來刊的應政節		予禁	8 消防費		予算の 位置			上乗せとして実施されてい		仅提前 凹	長公	10 ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します
担当記	高根支所地域振興課	L 140K	算 項	1 消防費	ш	付け			て実施する事業・単年	度事業	H25計画額	千円 約	・
		3710	目	3 消防施設勢	2		D 1	その他事業	Ę		1125日四級	113	
1 #	業の目的・概要(Plan)												
ы	進を(対象) 高根支所地域全住民	どうした	L\							概	事業の中本		
的	与在	のか 417 人 (意図)		れていない構築物	の処分					要	事業の実施 手法(手段)	不要構築物の処分解体	
	村象者数	417 人 (意図)											
2 #	業の推移・結果(Do)									3 分	析•評価(Check)		
Н	3実績										析・評価で いになった課題		
	 指標名		単位	目標·実績	H22	H23	Н	H24	H25				
Ħ	:			目標値					2	4 ^	** ~ - / ·		
重打	撤去件数		件	実績値						4 兮	後の方向性(Act	ion)	
村	算出根拠等		•	達成率(%)						-m c	EM: - +1 -+ 7		
				目標値							■等に対する は対応状況		
				実績値									
	算出根拠等			達成率(%)						担	維持·改善		
				目標値						次年課			
	for 11 40 Ann for			実績値							州日ハ」、		
成	算出根拠等			達成率(%)						の価	廃止検討		
五				目標値 実績値						実	維持·改善		
	算出根拠等			達成率(%)						方次	拡大		
-	372122			目標値						針二評	AND A		
				実績値							廃止検討		
	算出根拠等			達成率(%)						コスト	Ī		
				目標値								事業費	H22 H23 H24 H25
				実績値								(人件費を除き、繰越・補正を含む)	決算額 決算額 予算額 予算要求額
	算出根拠等		•	達成率(%)						コスト 指標		歳出(千円)	(A) 0 0 0 300
神												受益者1件当たり(円) (A/B) 0 0 719
5											受益者		(B) 0 0 417
5 ₹	算編成(Action2)												
消防												不要となった消防ホース乾燥塔等については、地域振興特別予算等を活用して、計画的に撤去していく必要がある。 地域 政策 課	
	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25	5予算要求額	増 減	Į	材務部調整	額	市長査定額			財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)		0	300	30	00		300	30	0			
財	国庫支出金										211		日本攻立の毎日恵か、「しょう」」
源	果支出金									要求ど	שפ		・財務部調整のとおり
訳	一般財源		0	300	30	00		300	30	0			
													L

+ 4	20899	地域財産管理事業			会計	1 一般会計	性別		A 合併前から実施されているイベント・行事		-	市		
尹未	番枝	地域別座首座学术		予	款	2 総務費	予算の		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	事業 根拠計画 地域振興計画 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	長			
+0.77	===	支担主張 地球作用調	内線	算	項	1 総務管理費	位置 付け		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業			公		
担当	沐	高根支所 地域振興課	高根支 <u>所</u> 地域振興課	3710		目	8 財産管理費	1917	0	D その他事業	H25計画額	77 千円 1	北刀	

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を	(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい	・市有地の適正管理	概	事業の実施	
É	対象	象者数	417 人	のか (意図)	・印有地の趣止官理	要	手法(手段)	市有地を含めた子ノ原高原の土地、道路等の適正な維持管理

2 事業の推移・結果(Do)

	H23実績	・市所有面積2,800坪に応じた負担金76,020円=(1,000	坪×40円]+1,800坪×18	5円)×1.05			
I		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	27				0.000	0.000	0.000	0.000

		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活;	財産管理面積	坪	目標値	2,800	2,800	2,800	2,800
	動指	州连官垤 国慎	14	実績値	2,800	2,800		
	標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	成	当該財産の見回り点検	日	目標値	7	7	7	7
	果指	ヨ該財産の兄回り点快	п	実績値	7	7		
	標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
成		算出根拠等		達成率(%)				
成果面				目標値				
血				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足							

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・財産を所有している限りは負担が必要であり、今後、有効活用が図られなければ、処分についての検討が必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

			こ対する 応状況	・他の未利用となっている市有地や施設等の売却等処分について、統一的な考え方の検討の実施。
	担	_	維持·改善	
3			拡大	┃ ・財産を所有している限りは負担が必要である。他の市有財産の処分等統一的な考え方に基づき実施する。
	年度評		縮小	「MECが行じている限りは見世が必要である。他の中有例座のだが寺机 かぶろんがに奉りて失肥する。
0	一個		廃止検討	
3 t		С	維持·改善	
5	5 次		拡大	(担当課評価に同じ)
á	評価		縮小	(12 3 PART IMIC PI C)
	ТШ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	77	77	77	77
7111 (274		受益者1件当たり(円)	(A/B)	162	170	185	185
	受益者	高根支所地域全住民	(B)	476	452	417	417

	了昇稿以(Actionz)			
事業	道路の維持補修・側溝維持管理等施設の適正な管理の実施	要求のの。	事業 実 支 今後の利用計画がなく、売却を含めた有効利用を検討する必要があ	管 オ オ 市有地の有効活用(売却含む)を進める必要がある。 果
卢容) 退的が報行情等。例為報付官、生守施政の過止な皆、生の失能	パイント	m	也 成 攻 同 上 実

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	77	77	0	77	77				
Ę	国庫支出金			0				・財務部調整のとおり		
3				0			・要求どおり			
P				0						
ī	一般財源	77	77	0	77	77				

	1 学 夕	31399	地域老人福祉推進事業費			会計	1 一般会計	杜中山	1	合併前から実施されているイベント・行事			击		
事業名		番枝	(冬季高齢者住宅開設事業)	高齢者住宅開設事業)		款	3 教育費	予算の	E	- 般予算の上乗せとして実施されている事業	乗せとして実施されている事業 根拠計画 地域振興計画		域振興計画 長 5 医療福祉を充実させます		
	日水=⊞		支担主诉 地球作用調	内線	算	項	1 社会福祉費	位置	(終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	・在宅介護支援を含め、高齢者集合住宅の拡充施策に取り組みます。	
	旦当課		高根支所 地域振興課	3710		目	3 老人福祉費	11) (7	0 [その他事業	H25計画額	2,550 千円	北月		

1 事業の目的・概要(Plan)

E	iff	隹を(対象)	高根地域住民	どうしたい のか	・空き施設の有効利用と高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざすことを目的とする。	概		・冬季高齢者住宅開設 開設期間 12月~翌3月 事業主体 高山市社会福祉協議会
Ė	Ż	対象者数	417 人	(意図)	・全さル版の有別が旧で同節日か女心して春らとる地域 ノックのです ここで日かにする。	要	手法(手段)	旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う施設改修、維持管理費

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績	・建物管理経費 ・トイレ等修繕費 ・社協への補助金	451千円 2,140千円 1,800千円						
			指	標名	単'	拉 目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	夕 禾 古 松	· 者集合住宅開設月	*h	月	目標値	4	4	4	4
	動指	今子同 町	11年日 庄七册政力	30	7.	実績値	4	4		
	標	算出根	拠等			達成率(%)	100	100		
	成果	施設利用	3 安 数		,	目標値	17	17	17	18
	未指	JE BY TIT	1-11 30			実績値	14	11		
	標	算出根	拠等			達成率(%)	82	65		
						目標値				
						実績値				
成		算出根	拠等			達成率(%)				
果面						目標値				_
Ш						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値			_	_
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
	補足	・成果:自 れ安心感	宅だと積雪等により も得ている。	り、運動量や地域住民との	会話が無くなる	中、利用者やボラ	ランティアと交流に。	より体を動かし、また	た、会話を楽しむ中	『で健康が維持さ

3 分析·評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・冬季利用だけではなく、その他の季節の有効活用の検討や入居者の負担割合等について協議が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

			対する 状況	・運営補助金のあり方や冬季以外の季節での利用方法の検討。
	担	0	維持·改善	
次	当課			・特に冬期間とじこもりがちとなる高齢者に「集団生活」による安心感を提供し、地域の高齢者への支援策として重要な事業であるこ
年度	評		縮小	とから継続する。また、冬季以外の活用についても検討する。
の	価		廃止検討	
実施	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	∖\≘⊐⋫町⊯┖⋓♥/
	Щ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	2,770	4,391	2,530	2,150
7111 (274		受益者1件当たり(円)	(A/B)	197,857	399,182	148,824	119,444
	受益者	施設利用者	(B)	14	11	17	18

業	冬季高齡者住宅施設 ·開設期間 12月~翌年3月	要 求 ・	事業実施		・冬季以外の活用についての検討が必要	介	・高根地域の特性により、高齢者の冬季生活の安定や健康保持のため、冬季高齢者住宅が必要。事業継続に向けての自主運営ができる体制づくりが必要となる。
	事業主体 高山市社会福祉協議会・旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う維持管理費	イ・現状に合わせ、水道光熱費を減 ント	心の課題	所		地域政策課	・冬季利用だけでなく、その他の季節の有効活用の検討や入居者の負担割合等、他の地域に波及するようなモデルとしての仕組みづくりが必要である。

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	2,530 2,150 \triangle 380		2,150	2,150					
財	国庫支出金			0						
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり		
内	その他			0						
訳	一般財源	2,530	2,150	△ 380	2,150	2,150				

3	世举夕	42299 食用廃油回収事業		会計	1 一般会計	杜里山		A 合併前から実施されているイベント・行事			市	豊かな自然を守り、環境モデル都市をつくります。
9	7年10日	及 用房和凹板字来	7	款	4 衛生費	予算の	0	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	実施されている事業 根拠計画 地	地域振興計画	長	8 ・地域温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きいる全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイ
+	担当課	高根支所 地域振興課	内線	項	2 清掃費	位置		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		H25計画額 60 千円		オマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につなが
12	出一味	同恨又別 地域振英味	3710	目	2 塵芥処理費	לוניו	0	○ D その他事業	H25計画額			る取り組みを支援します。

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象)	高根支所地域全住民		・使用済食用油を回収、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより、市民のリサイクル意	概	事業の実施	・一般家庭より排出される食用廃油、月1回4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。
Ĥ	対	象者数	417 人	(意図)	識の向上を図るとともに、地域温暖化対策を推進する。	要	手法(手段)	・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の燃料(BDF)として活用する。

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績	・延べ12回開設 回収量790						
			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	今田 底油	1回収箇所	箇所	目標値	4	4	4	4
	動指	及用疣油	10.农自力	直別	実績値	4	4		
	標 算出根拠等 達成				達成率(%)	100	100		
	成	食用廃油	- 中国	Q.	目標値 100 100		100	100	
	果指	及用班加	旧权里	*	実績値	96	79		
	標	算出根	拠等		達成率(%)	96	79		
					目標値				
					実績値				
成		算出根	拠等		達成率(%)				
果面					目標値				
血					実績値				
		算出根	拠等		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根	拠等		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根	拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・回収方法の検証を図る。

4 今後の方向性(Action)

_	•			• • • • • •	•
				対する が状況	・事業の必要性を考慮しながら回収方法を隔月の検討する。
		担	0	維持·改善	
	次	当課評		拡大	・事業の必要性を考慮しながら回収方法を隔月の実施に向けて検討する。
	年度	評		縮小	*事業の必要性を考慮しなから回収方法を附片の実施に同じて快割する。
	の	価		廃止検討	
	実施	_	0	維持·改善	
	方	次		拡大	環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。
	針	評価		縮小	「境境に対する別末、コハド曲、特表だ理じた海の需要等を比較し、土川町に事業の失能力到下残疾について候間する必要がある。
		亘		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	36	37	50	30
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	76	82	120	72
	受益者	高根支所地域全住民	(B)	476	452	417	417

5 予算編成(Action2)

事業の内容この収する。
()として活用する。ではないの課題ではないの課題ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。ではないのでは、
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()として活用する。
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、
()としているでは、<

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	50	30	△ 20	30	30		
財	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり
内	その他			0				
活	一般財源	50	30	△ 20	30	30		

事業 夕	51399	ワークキャンプ活用事業			会計	1 一般会計	杜中山		Α	合併前から実施されているイベント・行事			+	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します
尹禾石	番枝	ラージャマンノ石川学来		予	款	5 農林水産業費	予算の	, 🗀	В	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画 場	€	3 ◎次代につながる農業を実現します
担当課		高根支所 基盤産業課	内線	算	項	1 農業費	位置		С	終期を定めて実施する事業・単年度事業				・飛驒高山のブランドにふさわしい、生産者の顔か
担日林		同假义剂 基盤性未誅	3742		目	3 農業振興費	1917	0	D	その他事業	H25計画額	100 千円 **	r)	加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。

額がみえる安全で安心な付

1 事業の目的・概要(Plan)

1	誰	生を(対象)	タカネコーン生産組合	どうしたい のか	・タカネコーン生産組合が主催する「タカネコーン収穫祭」のスタッフとしてNPO法人NICEから受け入		事業の実施 手法(手段)	・NPO法人NICEへの負担金
É	対	付象者数	30 人	(章図)	れし、人手不足の解消とブランド化の推進に資する。	要	手法(手段)	TNFO从入NIOET WO 典担证

2 事業の推移・結果(Do)

		H23実績	・NPO法人NICEへの負担金 50, 943円 8/26~8/28 ワークキャンプ開催 指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
--	--	-------	--	----	-------	-----	-----	-----	-----

			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	NPO法人NIC	5~の負担令	千円	目標値	100	100	100	310
	動指	INFOAXINIC	こ、の負担並	T17	実績値	98	51		
	標	算出根拠等	予算·決算額		達成率(%)	98	51		
	成果	タカネコーン販		千円	目標値	5,200	5,200	5,200	11,500
	未 指	メルヤコーン州	がは	111	実績値	5,200	1,715		
	標	算出根拠等	タカネコーン生産組合決算		達成率(%)	100	33		
	成果	タカネコーン販	売 数	千本	目標値	22	22	22	50
	指	773·1·4 7 MX		17	実績値	22	7		
成	標	算出根拠等	タカネコーン生産組合決算		達成率(%)	100	34		
成果面					目標値				
血					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補								
	足								

3 分析·評価(Check)

・地域の代表的な農産物であるタカネコーンのブランドカを維持していくため今後も継続していくことが理想であるが、生産組合の体制強化により組合独自の事業として移行する方向で検討する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

			ニ対する 芯状況	・生産組合と今後の実施方針等調整する。
白	十 線小			・ブランドカの向上と生産組合の体制強化のため、当面継続する。
ほの	一個	H	廃止検討	
月		0	維持·改善	
ナ	7 次		拡大	│ ・一時的なスタッフの確保に対する負担金支出であることから、ブランドカ強化のための別の方策を考える必要がある。
金	計価		縮小	ではではハアノノの唯体によりする長温並又出てめることがで、ファントが強化のための別の方来を考える必要がある。
	ТШ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	98	51	100	310
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,267	1,700	3,333	10,333
	受益者	生産組合構成農家	(B)	30	30	30	30

5 予算編成(Action2)

事業実施の課題 ・収穫祭等におけるスタッフを都市部から受入れ、地域の特産品であるタカネ の コーンを都市住民に広め、都市における認知度を高め、さらなるブランド化を ポ・タカネコーン収穫祭等のスタッフ受入れに係る経費負担 支 ・若者の受入、交流強化、地域活性化のため今後も継続してほしいと 所 要望がある。 図る。

・地域との交流だけでなく、地域の特産品を都市に広め、販路を拡大する機会としてワークキャンプを活用する。

・タカネコーンをブランドとして定着させることは重要であるが、地域振興特別 予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	100	310	210	100	100		
Ą	国庫支出金			0				
I	県支出金			0			・計画額どおり	・財務部調整のとおり
P	その他			0				
0	一般財源	100	310	210	100	100		

	事業名	62199	野麦峠における交流促進事業	,		会計	1 一般会計	杜上口山	Δ.	合併前から実施されているイベント・行事			击	積極的な観光振興策を実施します。
•	尹未位	番枝	野友味における文派促進争業	•	予	款	6 商工費	予算の	E	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	積極的な観光振英泉を実施します。 1 ・最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。
	-D 77 ≅⊞		高根支所 地域振興課	内線	算	項	2 観光費	位置	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指しま
1	브크林		向低义剂 地域旅兴味	3710		目	1 観光振興費	1917	0 [その他事業	H25計画額	千円	北刀	9 0

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	推を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか	・女工哀史で全国的に知られる野麦峠を中心とした観光PRにより観光客の増加を図るとともに、隣	概	事業の実施	・野麦峠まつり ・映画「あゝ野麦峠」上映会
Ŕ	Þ	対象者数	417 人	(意図)	接する松本市と野麦峠における交流を図る。	要	手法(手段)	・柳ケ瀬物産展 野麦峠PRのため上記イベント経費の一部を負担。

2 事業の推移・結果(Do)

	H23			⊧PRのため下記イベント経費の一部を負担 峠まつり、映画「あゝ野麦峠」上映会、柳ケ瀬物店	展、野麦	峠トレイルラン				
				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活動	イベント回	1 % b			目標値	2	4	3	2
	判指	,	190			実績値	2	4		
	標	算出根:	拠等			達成率(%)	100	100		
	活動	松本市と	の交流	たイベント回数	回	目標値	1	2	1	1
	指	ATTIC	·/ // //			実績値	1	2		
	標	算出根	拠等			達成率(%)	100	100		
	成果	野麦峠年	問入も	入客数	千人	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
	未 指	±1 ×-1· 1	10,7 42		17	実績値	23,376	20,705		
成	標	算出根	拠等	野麦峠年間入込客数(観光動態調査)		達成率(%)	94	83		
果面						目標値				
囲						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
	補足									

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・民間(観光関係団体等)が運営可能な体制づくりについて検討する必要がある。
---------------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・民間(観光関係団体等)と協力・引継ぎをしながら運営体制を作る。						
	担	0	維持·改善	・野麦峠は、高根地域の主要な観光ポイントであると同時に、高山市街地への誘客効果も期待できるため、観光客の増加を図るため						
火口	当課		拡大	効な事業である。地域全体の機運もあがっており、今後も野麦峠まつりなどの関連事業を引き続き行っていく必要がある。						
	評		縮小	・平成27年度以降、工女衣裳の維持管理に必要な経費を除き、市の助成なしでやっていけるよう、飛騨高根観光協会へ引き継いでしく。						
の ·	価		廃止検討	U.V.o						
実	-		維持·改善							
施力	次		拡大	・民間(観光関係団体等)主体への移行について検討する必要がある。						
針	評価	0	縮小	・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。						
	1Ш		廃止検討							

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	863	300	300	300
711 177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,813	664	719	719
	受益者	4/1現在高根町住民	(B)	476	452	417	417

一	野麦峠交流促進事業 ・野麦峠まつり	要 求 の ・	事業実施	・松本市との合同開催にあたっての協議、調整と、工女役等の確保。	観 光 持続可能な事業となるよう運営主体の強化を図ること。 課
7 名	・旧野麦街道(歴史街道糸引きの道)ツアー	・野麦峠の誘客に結びつける旧野麦峠街道ツアー ント	心の課題	・ソアー客から意見聴取後の翌年度以降の対応の検討。	地 域 政 事業者が自主的に運営可能となるような仕組みづくりが必要である。 策 課

	事業費 (人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	300	300	0	300	300		
Ą	国庫支出金	0	0	0				
J	原東支出金	0	0	0			・要求どおり	・財務部調整のとおり
P	その他	0	0	0				
ā	一般財源	300	300	0	300	300		

#	***	62399 地域観光施設事業			会計	1 一般会計	杜里山		A 合併前から実施されているイベント・行事			击	積極的な観光振興策を実施します
7	未有	番枝		予	款	6 商工費	予算の		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	1 ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。
+=	1 717 ≘⊞	支担士品 外球作用器	内線	算	項	2 観光費	位置		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指しま
15	出話	高根支所 地域振興課	3710		目	2 観光施設費	73 17	0	D その他事業	H25計画額	千円	北刀	y ₀

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を	E(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか	・野麦峠の観光施設について、特に危険性のある個所や利用者からの不満が多い個所について改			・野麦峠東屋修繕、野麦峠の館トイレの洋式化
Ĥ	対象	象者数	417 人	(意図)	善していくことで、観光客の満足度をアップさせ、誘客に結び付ける。	要	手法(手段)	・ 主文 下 木 庄 珍 信、主 文 下 の 班 い リ レ の 汁 丸

2 事業の推移・結果(Do)

_	2 事	業の推移・結果(Do)							3 分	听•評価(Check)						
	H2	3実績 なし								折・評価で になった課題						
		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25								
	活動	修繕個所	個所	目標値			2	11	∆ ≙a	後の方向性(Action)						
	指	·	112771	実績値						24773 [-1] E (* todati)						
		算出根拠等		達成率(%)					= m e:	ケーヤナフ						
	成	, 野麦峠観光客数	人	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	計 H2	等に対する 4対応状況						
	指	†		実績値	23,385	20,705										
	標	算出根拠等 野麦峠年間入込客数(観光動態調査)		達成率(%)	94	83			担	維持·改善						
				目標値					次当	拡大						
				実績値					次年度の	縮小						
	或 果 面	算出根拠等		達成率(%)					度一品	廃止検討						
	果			目標値					実	維持·改善						
	Ħ			実績値					施二	拡大						
		算出根拠等		達成率(%)					実施方針	縮小						
				目標値					一個	廃止検討						
				実績値						光正 [大日]						
		算出根拠等		達成率(%)					コスト面							
				目標値							事業費		H22	H23	H24	H25
				実績値						(人件費を関	余き、繰越・補正を含む)		決算額	決算額	予算額	予算要求額
		算出根拠等		達成率(%)					コスト指標	歳出	(千円)	(A)	0	0	1,300	6,912

5 予算編成(Action2)

	了升橋以(Action2)				
事業	·親光施設修繕·整備	要 求 の ボ	事業実施支	施設の老朽化に伴い、危険個所や維持管理に影響を及ぼす施設を多 数抱えている。早急に修繕・撤去などの整備が必要である。	観 光 禁 に緊急性、必要性のあるものについて優先的に実施していくこと。
内容	"我人儿,他在女师,神色" "是"则	1 2 1	の課題		地 域 実施による効果を検証するとともに、施設の利用者増に取り組む必要がある。 課課

(A/B)

23,385

受益者1件当たり(円)

受益者 野麦峠観光客

25,000

52

0

20,705

25,000

276

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	1,300	6,912	5,612	5,400	5,400				
貝	国庫支出金			0			・ ・積算内容を精査			
源	県支出金						・施設整備に係る費用は観光施設運営事業費で実施	・財務部調整のとおり		
P	その他			0						
副	一般財源	1,300	6,912	5,612	5,400	5,400				

7	***	62499 地域自然公園等管理事業			会計	1 一般会計	性別		Α	合併前から実施されているイベント・行事		-	#	積極的な観光振興策を実施します
7	未有	名		予	款	6 商工費	予算の		B 一般予算の上乗せとして実施されている	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画		1 ◎新たな観光資源を発掘し活用します
+	当課	高根支所 基盤産業課	内線	算	項	2 観光費	位置		С	終期を定めて実施する事業・単年度事業・		1	公	●制たな観光資源を光振しる用します・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を
11	出际	同低人[7] 基盤性未課	3742		目	4 自然公園費	付け	0	D	その他事業	H25計画額	千円 **	הא	新たな観光資源として積極的に活用します。

1 事業の目的・概要(Plan)

E	- Miles	隹を(対象)	登山道利用者	どうしたい のか	・乗鞍登山道のうち、子ノ原及び阿多野郷ルートの草刈等整備を実施し、登山道を地域資源として活		事業の実施	・シルバー人材センターへの委託
É	†	対象者数	未確定 人	(意図)	用し、地域の活性化を図る。	要	手法(手段)	・グルバー人材センターへの安配

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・子ノ原及び阿多野郷からの登山道の草刈(登山道入り口より8km)

			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	草刈等実施の	N자 트	km	目標値		8	9	10
	動指	平/7寸天池0	7些 技	KIII	実績値		8		
	標	算出根拠等	図上		達成率(%)		100		
	成		× **L		目標値		20	30	50
	果指	登山道利用和	1900	\	実績値		18		
	標	算出根拠等	問い合わせ電話等による推計		達成率(%)		90		
					目標値				
					実績値				
成		算出根拠等			達成率(%)				
果面					目標値				
面					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足	・登山客の実		ることから	、キャンプ場管	理者等の聞き取り	及び支所への問い	合わせ電話等から	5推計している。

3 分析・評価(Check)

・キャンブ場管理者等において、ある程度の登山客数把握が必要である。また、毎年継続して実施していくことが登山者の増加につながるものと考える。

4 今後の方向性(Action)

	課題等に対する H24対応状況			・昨年に引き続き、乗鞍登山道の草刈等を実施する。また、新たに御岳登山道の草刈も実施する。 ・登山客の把握については、キャンブ場管理者と協議を進めるとともに、利用者への便宜を図るため、看板等を設置する。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・地域振興及び利用者の利便性や安全性の確保の観点から、引き続き継続していく。
年度	評		縮小	*地域像典及び利用有の利使性や女主性の唯体の観点から、引き続き極続してい。
の	価		廃止検討	
実	_	0	維持·改善	
施方	次		拡大	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、登山道整備(全体)の方針について検討する必要がある。
針	評価		縮小	^{- 一} 行門が旧だ」で元加ん、□ 主件のバリンへとも感じ、豆山塩 <u>を</u> 順(主体)の刀釘に りいて検討する必安がある。
	ТШ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	0	448	600	766
711 155		受益者1件当たり(円)	(A/B)		24,889	20,000	15,320
	受益者	登山道利用者	(B)	0	18	30	50

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	1,000	766	△ 234	0	0				
財	国庫支出金			0			・計画に掲載されていない事業であることや平成23年度・平成24年度と2年間			
源	県支出金			0			実施してきたことを踏まえ、平成25年度は見送り	・財務部調整のとおり		
内	その他			0						
哥	一般財源	1,000	766	△ 234	0	0		1		

+ *	72299	72299 住みよい地域づくり事業			会計	1 一般会計	特別	A 合併前から実施されているイベント・行事			#	市民の生活と生命・財産を守ります。	
争未	番枝			予	款	7 土木費	予算の	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	市民の生活と生命・財産を守ります。 6	
+0.24	- -	古相士配 甘敏产类词	内線	算	項	2 道路橋りょう費	位置 付け	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進め	
担ヨ	沐	高恨又所 基盤性未誄	高根支所 基盤産業課	3741		目	2 道路橋りょう維持費	לו ניד	O D その他事業	H25計画額	500 千円	ポ ብ	まり 。

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対	市民及び観光客	どうしたいのか	・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客等の通行の安全確保を図る。	概	事業の実施 手法(手段)	・シルバー人材センターへの委託
Ĥ	対象者	女 417 人	(章図)	* 未治目で和か印建の除草寺により、印氏及び就元各寺の週刊の女主権床で図る。	要	手法(手段)	・シルバー人材センターへの安乱

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績	·市道 5路線	8.5km の草刈及び清掃						
				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	実施路線	1 W.b-		路線	目標値	3	5	5	5
	動指	夫肔龄	R 90X		始報	実績値	3	5		
	標	算出根	拠等 仕様書			達成率(%)	100	100		
	成	実施延長	ı.		m	目標値	7,000	8,500	8,500	8,500
	果指	大心是下	4		111	実績値	7,000	8,500		
i	標	算出根	拠等 仕様書((市道台帳より)		達成率(%)	100	100		
	成果					目標値				
	指					実績値				
成	標	算出根	拠等			達成率(%)				
成果面						目標値				
ш						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根	拠等			達成率(%)				
		l								

3 分析·評価(Check)

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・地域の需要に応え、安全安心な生活道路を確保するため、前年同様継続していく。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・地域の需要を考慮しつつ、当面現状で継続していく。
年度	評		縮小	「心場の需要を考慮しフラ、当面気体で整修してい、。
の	価		廃止検討	
実施	П	0	維持·改善	
^施	次		拡大	 ・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。
針	評価		縮小	で多の景観、東光と体エチでにの天服しているが、行列が同時に上皮は、エロロコに天脈は称と大部チで必要がある。
	Щ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	229	462	600	600
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A∕B)	481	1,022	1,439	1,439
	受益者	4/1現在高根町住民	(B)	476	452	417	417

事業市道沿道の草刈り清掃	要求ののが	事業 実 支・過疎化、高齢化により、これまで各地域住民が行ってきた草刈清掃	けでは対応できない。
内容	イント	の 課題 断 業務が、年々困難となってきている。 地域 政 樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されてい 策 報 となってきている。 は、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、 課	いる類似事業につい 調整が必要である。

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	600	600	0	600	600		
財	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり
内	その他			0				
哥	一般財源	600	600	0	600	600		

	事業名 9529	地域体育施設維持管理事業	,		会計	1 一般会計	性모		Α	合併前から実施されているイベント・行事			市	
	尹未 石 番枝	地域体育爬取鞋符首座专来	场		本		地域振興計画	長	高地トレーニングエリアの誘客宣伝及び雇用促進					
I	担当課	古祖士武 地球作用部	内線	算	項	5 保健体育費	位置	П	С	終期を定めて実施する事業・単年度事業・			公	同地トレーニングエッテの誘各重伝及び雇用促進
ı	担ヨ誄	高根支所 地域振興課	3710		目	2 体育施設費	1917	0	D	その他事業	H25計画額	千円	利	

1 事業の目的・概要(Plan)

目	誰を(対象)	飛驒高山御嶽トレーニング利用者	どうしたい のか	・高地トレーニング強化拠点施設として、夜間もグラウンド(を利用できることで利用者の増を図る。	概	事業の実施	・飛騨高山御嶽トレーニングセンターのグラウンド夜間照明施設の維持管理
的	対象者数	2,300 人	(意図)	「同心にレーーノノ地心を無心改として、牧田でノブブノド(されかてきることで利用者の指さ込む。	要	手法(手段)	「飛奔回山呼風ドレーーン) ピンチーのノ ブソンド (XIII) III が が 地

2 事業の推移・結果(Do)

	H23		看板の設置 照明施設								
			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25		
	活	看板の設置		基	目標値		10	5	0		
	動指	省似の改直		巫	実績値		10				
	標	算出根拠等			達成率(%)		100				
	活動	夜間照明の設	置	基 目標値 3 (
	指	以间無勢の起	<u>u</u>	坐	実績値		3				
	標	算出根拠等			達成率(%)		100				
	成果	飛脳支山御嶽	トレーニングセンターの利用者	Y	目標値	1,000	2,000	2,200	2,300		
	指	7169710111171			実績値	1,474	2,208				
成	標	算出根拠等			達成率(%)	147	110				
果面	成果	飛驒高山御嶽	トレーニングエリア合宿利用者	人	目標値			19,000	19,200		
Ш	指	71007100100			実績値	16,679	17,584				
	標	算出根拠等			達成率(%)						
					目標値						
					実績値						
		算出根拠等			達成率(%)						
					目標値						
			_		実績値						
		算出根拠等			達成率(%)						
	補足										

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・グラウンド(夜間照明施設)の利用者を増やす必要がある。

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・地域体育施設を結ぶ公道を走る利用者の安全確保を図るため、ランナー注意看板を設置する。・夜間電気使用料の検討を所管課において検討する。
	担		維持·改善	
次	当課		拡大	・夜間電気使用料について条例化された後は、夜間も屋外でトレーニングができることを誘客材料にも活用し、夜間照明の維持管理
年度	評	0	縮小	を行う。
の	価		廃止検討	
実	_		維持·改善	
施方	次		拡大	・ランナーが安全に利用できるよう施設の維持管理を行うとともに、利用者増の方策について検討する必要がある。
針	評価	0	縮小	・プラフール・女主に利用して公より肥政の性対旨性で11プCCでに、利用有指の方束に プいし快割する必要がのる。
	1Ш		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	0	3,621	800	150
711 177		受益者1件当たり(円)	(A/B)		1,639	363	65
	受益者	飛騨高山御嶽トレーニング利用者	(B)	0	2,208	2,200	2,300

事業	・飛驒高山御嶽トレーニングセンターのグラウンド(夜間照明施設)の維持管	要求のの。	事業実施支	・夜間利用できることの宣伝と活用	スポポーツ 当事業の実施により、地域のスポーツ活動やコミュニティ活動が促進され、地 地域振興が図られる。
内容	理	イント	の課題	, i	地域 政施設の活用を地域振興につなげるため、集客力を高める取り組みが必要。

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	800	150	△ 650	150	150		
財	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり
内	その他			0				
高	一般財源	800	150	△ 650	150	150		

4	1 世 夕	20999	地域振興助成事業			会計	1 一般	般会計	杜中山		A	合併前から実施されているイベント・行事			#	
7	未有	番枝	心學家类別以學業		予	款	2 総務	務費	予算の		В	一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を
+6	旦当課		高根支所 地域振興課	内線	算	項	1 総務	務管理費	位置		С	終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	つって取り組む活動に支援します。
11.	出二林		向低义剂 地域振英床	3710		目	9 企画	画費	לו ניו	0	D ·	その他事業	H25計画額	2,500 千円	北刀	

!域の特性を伸ばします。」 惑を創るため、地域が手を取り

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象) 高根地域住民	民	どうしたい のか	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取組む	概	事業の実施	・地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくりへの補助
É	対	象者数	417 人	(意図)	地域振興事業を支援する。	要	手法(手段)	・地域の住民が日上的、上体的に取り組む公共住の向い地域ノスツへの権助

2 事業の推移・結果(Do)

・美化運動事業(3件)、高トレ誘客宣伝事業、日和田石仏環境整備事業、古道整備事業、史跡保存事業、エンパワーメント事業、高根町火畑そばまつり事業、ミナモ雪像づくり事業、アンテナショップ運営事業 H23実績

	1									
				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活動	地域振興:	事業	補助金採択件数	件	目標値	10	10	10	10
	指	-6-9/30/70	7-761	11 30 TE 14 11 1 30		実績値	10	11		
	標	算出根拠	心等			達成率(%)	100	110		
	成果	まま は は は は は は は は は は は は は は は は は は	主 学 2	補助金実績額	千円	目標値	2,000	2,000	2,500	2,500
	未 指	>50×3000 94	尹木下	出功业大利限	111	実績値	1,967	1,786		
	標	算出根拠	心等			達成率(%)	98	89		
						目標値				
						実績値				
成		算出根拠等				達成率(%)				
果面						目標値				
血						実績値				
		算出根拠	心等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根拠	心等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根拠	心等			達成率(%)				
	補足									

3 分析·評価(Check)

・将来的に補助できないものについては、その旨を団体に説明しなければならない。又、内容によっては一般予算の助成制度に該当する事業に見直すなど調整が必要である。 分析・評価で 明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

Ī			対する 状況	・将来的に補助できないものについては、その旨を地元へ説明しながら徐々に補助額を減額していく。また、一般予算の補助制度等に該当する事業内容に見直しが可能かどうかについて団体に、助成制度を説明していく。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・新規事業については、特別予算終了前に完結、あるいは終了後は補助なしで継続できるよう協議しながら実施する。 ・継続事業については、事業内容等の見直しにより、他の補助制度等に移行可能な事業は移行するとともに、移行困難な事業につ
年度	評		縮小	一般就争集にしいては、争集内谷寺の兄直じにより、他の補助前長寺に移行明能な争集は移行明るとともに、移行的異な争集については、事業規模の縮小を協議しながら継続する。
の	価		廃止検討	
実施	1	0	維持·改善	
池方	次		拡大	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。
針	評価		縮小	〒19420年度でお初にしていって来るこのツ、1947日19日で相互し、下成47年度次降の対応について供削する必要がある。
	国		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	1,967	1,786	2,500	2,500
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,132	3,951	5,995	5,995
	受益者	高根地域住民(4/1現在)	(B)	476	452	417	417

5 予算編成(Action2)

地域政策課 地域政策課 事業実施の課題 ・地域住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業に対する

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	2,500	2,500	0	2,500	2,500		
財	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり
内	その他			0				
訳	地域振興事業特別予算	2,500	2,500	0	2,500	2,500		

事業名	20999	地域要望対応事業			会計	1 一般会計	性如			A 合併前から実施されているイベント・行事			击	
尹禾石	番枝	心學安主对心學未		予	款	2 総務費	予算の	, [B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	地域振興計画	長	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体
担当課		古相士花 地球作用词	内線	算	項	1 総務管理費	位置			C 終期を定めて実施する事業・単年度事業			公	り合って取り組む活動に支援します。
担当課		高根支所 地域振興課	3710		目	9 企画費	1917	C	2	D その他事業	H25計画額	2,500 千円	市山	

D地域の特性を伸ばします。」 体感を創るため、地域が手を取

1	事業の	60。	脚亜	(Plan)

E	誰	Éを(対象)	高根地域住民	どうしたい のか		概	事業の実施	・市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕
Á	*	付象者数	417 人	(意図)	・川冷心放くがダルックの女主に如心するのの	要	手法(手段)	「川旭、茂旭、小町寺のム大池政の社」家の参信

3 分析・評価(Check)

2 事業の推移・結果(Do)

ı	H23実績	·排水路修繕、用水路修繕、用水路取水口修繕、転落	防止柵修	繕、街路灯修綿	集、冬季高齢者住9	宅浄化槽修繕、バス	ス停修繕			折・評価で になった課題					
		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25							
	活動物域要等	望対応事業採択件数	件	目標値	11	7	10	10	1 ≙8	の方向性(Ac	tion)				
	指	E/7/07 不体队门 纵	- "	実績値	11	7			7 / 12	(0) TI [-1 [C(0)	4017				_
	標 算出根	艮拠等		達成率(%)	100	100			-m ex	M-1_1_L 7					
	成地域要包	望対応事業実績額	千円	目標値	2,500	2,500	4,000	5,017	課題 H24	等に対する 対応状況	・引き続き実施する。				
	指 地域安置	至外心学术大快银	713	実績値	2,196	2,025									
	標算出根	製拠等		達成率(%)	88	81			担	O 維持·改善					_
				目標値					か 当	拡大					
				実績値					次年度の	縮小	・引き続き実施する。				
成	算出根	艮拠等		達成率(%)					度価	廃止検討					
成果面				目標値					宝	O 維持·改善					
血				実績値					施方針	拡大					
	算出根	艮拠等		達成率(%)					万 八	縮小	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査	とし、平成27年度以降	拳の対応について	食討する必要があ	る。
				目標値					一個	廃止検討					
				実績値						光工 (人口)					_
	算出根	艮拠等		達成率(%)					コスト面						
				目標値							事業費	H22	H23	H24	
				実績値							(人件費を除き、繰越・補正を含む)	決算額	決算額	予算額	
	算出根	製拠等		達成率(%)					コスト指標		歳出(千円) (A)	2,196	2,025	4,000	
	2曲	·		·	·	·	·	-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		受益者1件当たり(円) (A/B)	4.613	4.480	9.592	

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	2,196	2,025	4,000	5,017
, LI DK		受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,613	4,480	9,592	12,031
	受益者	高根地域住民(4/1現在)	(B)	476	452	417	417

事業・公共施設等の軽微な修繕	要求ののが	事業実	地域政策課	
容容	イ ン ト	がの。一所の課題	地 域 政 策 課	

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	4,000	5,017	1,017	3,900	3,900				
貝	国庫支出金			0						
沥	県支出金			0			・配分額の調整	・財務部調整のとおり		
Þ	その他			0						
III.	一般財源	4,000	5,017	1,017	3,900	3,900				

**	21100	土地借上料			会計	9	簡易水道事業特別会計	特別		1	A 合併前から実施されているイベント・行事		a	#	市民の生活と生命いのち・財産を守ります。
争未	番枝	工趣语工科		予	款	2	総務費	予算の	0	E	3 一般予算の上乗せとして実施されている事業	根拠計画	<u> </u>	長 6	i
40.00	-m		内線	算	項	1	総務管理費	位置		(終期を定めて実施する事業・単年度事業		- 2	公	・安全安心な上水道を提供するため、施設の整体をはは、
担当	詸	高根支所 基盤産業課	3741		目	1	一般管理費	付け			その他事業	H25計画額	千円 **	約	給水地域の解消に努めます。

整備を加速するとともに、未

1 事業の目的・概要(Plan)

E	iii	誰を(対象)	簡易水道施設地主	どうしたい	・水道施設用地の借上料	概	事業の実施 手法(手段)	・市の基準を上回る土地賃貸借
Ė	Ż	対象者数	14 人	のか (意図)	・小連胞政力地の旧上村	要	手法(手段)	・川の歴年で上凹る上心具具旧

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績 ·高根町地内 8施設 土地所有者 14名 246千円

		<u> </u>		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	土地恁供	上地賃借契約者数			目標値	14	14	14	5
	動指	土地貝旧	大小)1	H XX	٨	実績値	14	14		
	標	算出根据	処等	契約書		達成率(%)	100	100		
	成果	給水人口	合水人口			目標値	476	452	417	387
	指	中ロバストロ				実績値	456	425		
	標	算出根据	処等	給水人口調べ		達成率(%)	96	94		
						目標値				
						実績値				
成		算出根据	処等			達成率(%)				
成果面						目標値				
Щ						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
	補足									

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	- 市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
---------------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

			こ対する 応状況	・次年度契約に当たり、所有者と交渉をする。
. [担	0	維持·改善	
	次		拡大	・土地賃借料が市の基準となるよう所有者との単価交渉を継続的に進めた結果、基準外の土地所有者は減少してきた。
	年一評		縮小	今後も安心安全な水の供給のため、引き続き交渉を継続する。
	の 価		廃止検討	
	実に		維持·改善	
	方│次		拡大	・本の其準に近づくとう単価な味な雑練する必要がある
		0	縮小	「川の至中に近 ススより手 画文/少と 絵杭する む安かのる。
	100		廃止検討	
	方	0	縮小	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	246	206	152	152
7111 (177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	17,571	25,750	30,400	30,400
	受益者	土地所有者	(B)	14	8	5	5

5 予算編成(Action2)

・水道施設が存在している以上、賃借を継続する必要があるが、市の基準を 上回る価格で借り受けている土地については、契約更新の際、市の基準に 事業実施の課題 引き下げてもらうよう交渉していく必要がある。 ·土地借上料 ・市の基準に近づくような単価交渉の継続が必要 ・地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要であ

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	152	152	0	152	152			
財	国庫支出金			0					
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部調整のとおり	
内	その他			0					
哥	一般財源	152	152	0	152	152			